

## USHA Japan 第 18 回理事会議事録

2020 年 12 月 26 日(土) 15:00～16:00

場所: Zoom 会議

出席者: 小野、Taranidhi Lohani、井上、Purushottam Lamichhane、橋本、金子、井村(敬称略)

司会・進行(Taranidhi)

### 報告

#### 1. プロジェクトチームからの活動報告

##### 外部協賛助成(井上)

現在のところ進展はない。

##### 情報・広報(井上)

メディア活動について(Purushottam)

Deepshree と Kansai TV Nepal とが協働してネパールでテレビ番組が始まる。今まで在日ネパール人を対象とし発信してきたが、ネパールに興味がある日本人からも意見などを聞き映像を一週間に一回ユーチューブやフェイスブックなどで配信していきたい。USHA JAPAN からメッセージと一緒に配信して協働を図り本会のアピール努めたい。

現在、コロナで活動が中断されているが、NRNA と今後とも協力しながら活動を実施していきたい。尚、本会と交流を推進していた NRNA は、現在、コロナ禍のために活動を休止している。

### 生活・保健支援

○三木東ライオンズクラブからの助成金について(小野、Purushottam)

12 月 22 日に三木東ライオンズの例会があり、はなみずきは Dogwood 代表池田さん、Deepshree はプルシュタム理事が参加し感謝の意を表明した。また、USHA Japan は小野が両団体の助成金で購入した物品の活用状況を報告した。

三木東ライオンズ 40 周年の記念式典は 6 月に実施する予定だが、コロナ流行の動向により実施されるかどうかは確定していない。

○Deepshree から今後の助成のあり方について、USHAJAPAN の支援に対して若干(数%程度)の助成金の一部還元の申し出があった。

### 2. ネパール情報

ネパールのコロナ感染は 25 万人、死者 1 万 8 千人で減少傾向、交通網が遮断されていたが現在、解除された。

#### その他の報告(小野)

ニューズレターの刊行について年明け、発行に向け準備中。

### 審議

#### ネパールからの特定技能試験合格者の動向について(小野)

今までに 1 名来日、12 月 22 日に 1 名、2 月には 9 名パルカスと共に来日予定。また、3 月から 4 月にかけて 20 名来日予定である。池田代表から、その他にも合格者がいるが受け入れ先の施設の開拓が課題との言及があった。

Dogwood からの特定技能の支援要請に基づき、年明けからそれぞれの担当者間で調整する。そして今後、支援の詳細等を協議していきたい。

橋本理事から情報提供; 西脇の方面の福祉施設で技能実習生(インドネシア)の受け入れがある。東播や西播の方でも特定技能など外国人労働者の需要が高まっている。

### 2. その他

○理事会運営について

来年度は対面とリモート会議のハイブリットで会議したいが、コロナが流行しているので当面はリモート会議になる。

会長から組織編成について以下の提案があった。

特定技能の支援体制の強化に伴いネパール人の理事の方々に活躍していただきたい。

現行の教育・啓蒙と生活・保健支援活動プロジェクトチームを合体させて、草の根支援プロジェクトチームとし、その代表リーダには Taranidhi 副会長を、またサブを富永理事にお願いしたい。

外部協賛助成プロジェクトチームの代表リーダに井上常務理事を、改めてアドバイザーを酒井先生にお願いしたい。

情報・広報プロジェクトチームの代表リーダに改めて井上常務理事を、またサブを Purushottam 理事にお願いしたい。

尚、以上の組織編成については、改めて 1 月の理事会に諮り承認を得る。

○特定技能の来日者に対してリモートでもよいかから交流会を実施することについて提案があった。

○次回会議未定、1 月第 2、4、5 週(土曜日)、また開始時間も調整後、決定する。